



すずしろ

～開拓・発展・完成～

4月 第1号

令和5年4月28日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

『 令和5年度、躍動の予感 』

令和5年度がスタートして3週間、今日も元気な生徒たちの声が、校舎内外から響いてきます。新しい環境に慣れる順応性を、生きる力の一つとして蓄えていってほしいと願います。

さて、5/8をもって新型コロナウイルス2019（第5類）対応が始まります。都の感染状況としては、4週間続けて対先週比が増加しており、GW明けのピークの懸念も現実味を帯びてきました。

感染対策が今までにも増してより個人判断に委ねられる中、この3年間の知見を無駄にすることなく、大人も子供も主体的に考え、実践していきましょう。

今年度は、この3年の間に制限されていた諸々の活動が徐々に解禁となっていきます。学校教育においても、コロナ禍以前の活動に戻すことを見越しながら、現状把握に努め、瑕疵のない対応を実施していきます。

そうした中、4年ぶりに開催となる「練馬区中学校生徒海外派遣」については、18名もの応募があり、本校生徒のグローバル社会に対する意識の高さを改めて知ったところです。

選考にあたっては、作文、学年面接、英語面接の上、校長面接を行い、総合的に判断して、候補生の推薦者を決定し、去る4/14に応募者に通知いたしました。

この結果発表が、実に心苦しいもので、できることなら応募者全員を推薦したいところですが、なにしろ選ばれるのは男女各1名と決まっております。発表を聞いた瞬間に見せる、見るに忍びない落胆した表情をこれまで何度も目の当たりにしてきました。それでもこれは、校長としての役目であると、応接室に集まった応募者を前に、意を決して候補生の発表をした直後、私は意表を突かれるとともに、心と体が震えました。大きな拍手が部屋中に響いたのでした。

これまで10年間、海外派遣候補生の選定に関わってきた中で、こんなことは初めてです。応募者一人一人のすべてが、真剣に、心から海外派遣を目指していたことは、作文や面接からしっかりと伝わってきていました。その上で、選ばれた者に自然と温かい拍手をもって称えることができる、その心持に、私は感動をこらえることができませんでした。

昨年度、生徒会が主催して、他者のよいところを見る「リスペクびよん」運動を展開していましたが、掲げる理想をただのお題目にするのではなく、その理念を自分の中に落とし込み、日々の生活の中で実践できるその姿に、確かな成長を遂げている開四中生の頼もしさを感じました。

開四中の生徒は素晴らしい。

この生徒たちを誇りに、保護者、地域の皆様とともに、よりよい開四中を創っていきましょう。今年度一年、どうぞよろしくお願いたします。

【 開進第四中学校 校訓 】

学ぶ・働く・協力する・鍛える・共に生きる

— 生徒諸君へ —

- ◎ 悩みや心配があったら、ためらうことなく、誰かに相談しよう。人権や、命に関わることは、信頼できる大人に話してください。開四中の先生たちは必ず、親身に、真剣に、あなたの話を聞きます。

【 文部科学省 相談窓口PR動画「君は君のままでいい」 】

<https://youtu.be/CiZTk8vB261>

※15秒の動画です。ちょっとのぞいてみてください。